

プラパゴン⑧

① 骨の怪物を退治すると、中から現れたのは中国の小人のおじいさんでした。「ハラショ
ー。あなたなかなか勇気あるね。私気に入りました。いいものをあげましょう」

② 「これは何ですか?」「これは、一度死んだ人を生き返らせる」とのできる不思議な木
の実だ。これを持つて行くといいぞ」「これはこれは、ありがとうございます」「少年
よ、気を付けて行くがいいぞ」

③ こうして、中国の小人の老人と別れた二人は、また山の方へと向かって歩いて行きます。

④ 歩き続けること三日目で、二人はようやく山の見えるところまで来ました。「きっとあ
の山にプラパゴンが住んでいるに違いない」と言っていると、

⑤ ビュー、ゴー。突如として大嵐が吹き始めました。「気を付ける、これはプラパゴンの
大嵐だぞ」ビュー。

⑥ 「私の住みかに近づくとはフトドキな人間どもめ。ひとおもいに吹き飛ばしてくれるわ」
「ウワー、アリーさん、大嵐で吹き飛ばされたよー」

⑦ アリーは遠く離れた大地へと叩きつけられてしまいました。「ウーン、いたい…」体が
痛んでなかなか起き上がることができません。すると向こうからプラパゴンがやってき
ました。

⑧ 「生意気な小僧め、ひとおもいに握りつぶしてくれるわ」「おのれくるか」剣をとつて
立ち上がるうとするアリー。果して…